

令和6年度 岡山市 英語教育改善プラン

目標

「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の設定等を通して、指導と評価の一体化を進めるとともに、小中連携の意識改善及び教員の授業改善を図る。

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

- ①「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の公表、把握の項目において向上した。

公表

(R4:27.9%⇒R5:36%)

把握

(R4:81.4%⇒R5:83.7%)

- ②言語活動時間の割合の項目において向上した。

(R4:89.5%⇒R5:91.3%)

未だ改善が必要な点

- ①「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の公表、把握の項目において目標に達していない。

公表

(R5目標:100%⇒R5:36.0%)

把握

(R5目標:100%⇒R5:83.7%)

2. 要因分析

- ①②岡山市英語教育推進指定校事業の授業公開及び講演会において、授業を通して「指導と評価の一体化」のあり方や言語活動の充実について周知徹底を図ったことにより改善したと考えられる。

- ①児童には公表しているが、地域や保護者に対しては公表が十分にできていない学校が依然として多い。他教科とは異なり、外国語のみが、学習到達目標の公表を求められているため、進まない状況である。

3. 目標を達成するための施策・事業

- ①「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の公表及び把握を実施することのイメージや指導と評価の一体化の具体例を示すことで、理解が促進されるようにする。岡山市英語教育推進指定校での実践事例を通して周知していく。

- ②岡山市英語教育推進指定校事業やその他公開授業発表を通して、単元を見通した授業づくりや言語活動の在り方について発信することで、教員の授業改善の促進を図る。

- ①岡山市英語教育推進指定校事業や各校での公開授業を通して、「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の異校種間での共有を含む小中連携や、指導と評価の一体化の意義等について好事例を周知することで教員の意識改善を図る。

◇受験区分に「英語枠」を設けている。各資格・検定試験の基準を選考試験実施要項に示しており、それらの基準を満たす資格所有の有無を採用する際の考慮事項としている。

令和6年度 岡山市 英語教育改善プラン

目標

- ・生徒の英語力の客観的把握に努めるとともに教員の授業改善を図る。
- ・教師の授業改善の意識向上を通して、生徒の英語力の向上に繋げる。

○CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合 (R5 : 53.1% ⇒ R6 : 55%)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

- ①生徒の英語力の状況が向上した。
※全国学調においても、偏差値が向上した。

(R4:44%⇒R5:53.1%)
(H31:49⇒R5:50)

- ②小中連携の実施状況が向上した。

(R4:78.9%⇒R5:100%)

- ③授業の半分以上言語活動を行っている学校の割合が向上した。

(R4:86.8%⇒R5:88.6%)

未だ改善が必要な点

- ①英語担当教員の英語力の状況に向上が見られなかった。

(R4:40.7%⇒R5:40.7%)

2. 要因分析

- ①③中学校第3学年を対象に実施した英語力測定試験により、生徒の英語力を客観的に把握すると共に、授業改善に生かしたことで改善したと考えられる。

- ②校種を越えた公開授業研究会への相互参観が進んだことで改善したと考えられる。

- ①英語担当教員英語力向上事業が終了したことから、教員の自己研鑽の場が減少したことが要因の一つと考えられる。

3. 目標を達成するための施策・事業

- ①中学校第3学年対象に実施した外部検定試験は今後も引き続き行い、教員はその結果を分析することで、自身の授業改善に繋げ、生徒の英語力の向上を図る。また、授業改善に生かした好事例を収集し、普及する。

- ②「英語教育推進指定校の公開授業研究を小中学校の教員で共に行い、相互理解を深める。また、CAN-DOLISTの共有による連携を進める。

- ③「英語教育推進指定校事業」により、指定校が学習指導要領に基づく授業の在り方について研究し、その成果を公開授業研究会で市内に共有することで、各学校の授業改善及び言語活動の質の向上を図る。

- ①ALTとの日常の協働を通して教員の英語力向上を図っていく。また、各種研修等の機会を捉え、教員に自己研鑽の必要性を伝えるとともに、自身の英語力を把握し、自己研鑽につなげるための一助とするよう外部検定試験の受検や研修の受講を推進する。

令和6年度 岡山市 英語教育改善プラン

目標

外国語教育の充実を図るとともに、異なる国の人や文化を身近に感じる機会を増やし、積極的に世界の人々とつながろうとする意識をもった生徒を育成する。

○CEFR A2/B1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合
(R5 : A2以上 33.3%、B1以上 9.8% ⇒ R6 : A2以上 50%、B1以上 20%)

1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

未だ改善が必要な点

①生徒の英語力の状況が向上した。
A2以上
(R4:27.7%⇒R5:33.3%)
B1以上
(R4:8.8%⇒R5:9.8%)

①生徒の英語力の状況が目標に達していない。
②授業中、50%以上の時間、言語活動を行っている割合は変わらないが、75%以上の時間、言語活動を行っている割合が減少している。
50%以上の割合
(R4:100%⇒R5:100%)
75%以上の割合
(R4:20%⇒R5:0%)

2. 要因分析

①国際交流の機会の充実を図り、言語学習の意欲が高まったことが要因と考えられる。
①「話すこと」「書くこと」と「聞くこと」「読むこと」を領域統合した言語活動が不十分であった可能性がある。
②教員の異動等により、英語科で授業づくりの共通理解が不十分であった可能性がある。

3. 目標を達成するための施策・事業

○ALTの常駐
・生徒の英語による言語活動を充実させるため、一斉授業だけでなく、個別にALTとコミュニケーションを図る機会を多く確保する。
○国際交流活動の推進
・外国語学習を実際のコミュニケーションにつなげていくため、実践の場の機会を設定する。
・オンラインを活用した交流を積極的に取り入れることで、1対1でコミュニケーションを図る機会を充実させる。
○言語活動の充実
・思考力、判断力、表現力等の育成に重点を置き、コミュニケーションの目的・場面・状況に応じて習得した知識・技能を活用することができる言語活動を設定する。
・国際交流活動等につながる学習となるよう計画したり、交流でうまく伝えられなかったことを次の機会ですでに修正したりするなど、実践と学習の往還を図る。

岡山市教育委員会

岡山市教育委員会管轄の高等学校は1校のみのため、一部非公表としています。

校種	指標内容		2023		2024		2025		2026		2027	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
高等学校	①CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）											
	①CEFR B1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）											
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（％）		100	100	100		100		100		100	
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合（％）		100	100	100		100		100		100	
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（％）	100	100	100		100		100		100	
		公表（％）	100	0	100		100		100		100	
		達成状況の把握（％）	100	100	100		100		100		100	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（％）		100	66.7	100		100		100		100	
	⑥英語担当教員の授業における英語使用状況（％）		100	100	100		100		100		100	

校種	指標内容		2023		2024		2025		2026		2027	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）		50	53.1	55		57		59		60	
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（％）		100	88.6	100		100		100		100	
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合（％）		100	97.4	100		100		100		100	
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（％）	100	100	100		100		100		100	
		公表（％）	100	84.2	100		100		100		100	
		達成状況の把握（％）	100	97.4	100		100		100		100	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（％）		50	40.7	50		50		50		50	
	⑥英語担当教員の授業における英語使用状況（％）		100	92.1	100		100		100		100	

校種	指標内容		2023		2024		2025		2026		2027	
			目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（％）	100	100	100		100		100		100	
		公表（％）	100	36	100		100		100		100	
		達成状況の把握（％）	100	83.7	100		100		100		100	